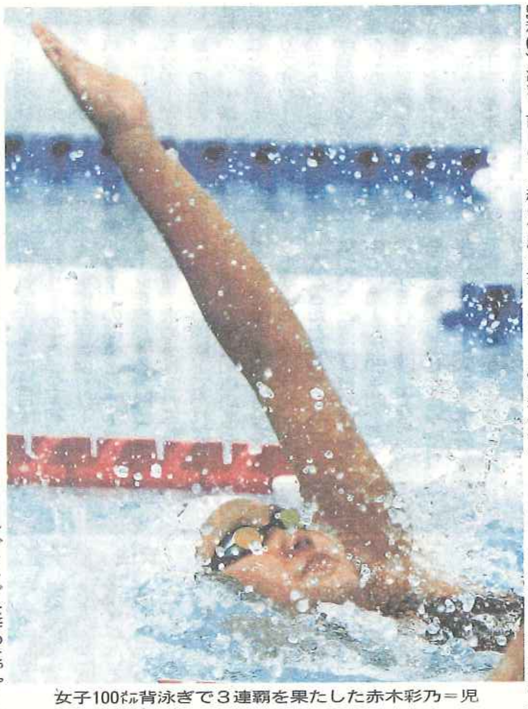
岡山県高校総体水泳

女子100背 赤木（勝山）3連覇

第51回岡山県高校総体（県高体連、山陽新聞社主催）は24日、倉敷市の児島マリンプールで、水泳の最終日があり、男女計14種目の決勝を行った。女子100㍍背泳ぎの赤木彩乃（勝山）が1分4秒41の大会新で3連覇を達成、男子100㍍背泳ぎの中尾駿一（青陵）は59秒05で泳ぎ、前日の200㍍と合わせ2種目ともに大会新で優勝した。

男子100㍍バタフライの三宅啓介（関西）は55秒35の県高校新を樹立。女子100㍍自由形の小寺佐代子（勝山）、同400㍍自由形の増田葵（倉敷工）も大会新で栄冠を手にした。

学校対抗の総合成績では男子は関西が4年連続、女子は光南が5年連続の優勝を果たした。


女子100㍍背泳ぎで3連覇を果たした赤木彩乃＝児島マリンプール

【男子】100㍍自由形 ①中川達哉（岡山工）54秒86 ②若林（金光学園）③西井（光南）▽400㍍自由形 ①橋本真吾（関西）4分15秒56 ②三宅孝（同）③大塚（勝山）▽100㍍平泳ぎ ①瀬角健太（関西）1分4秒42 ②日本（同）③妹尾（光南）▽100㍍バタフライ ①三宅啓介（関西）55秒35＝県高校新、大会新 ②赤木（美作）③山本（同）▽100㍍背泳ぎ ①中尾駿一（青陵）59秒05＝大会新 ②穐山（東岡山工）③藤井（青陵）▽200㍍個人メドレー ①佐藤龍太（大安寺）2分13秒55 ②浜松大（関西）③中道（同）▽800㍍リレー ①関西（三宅啓、瀬角、中道、橋本）8分0秒67 ②岡山工 ③操山 ◇学校対抗 ①関西192点 ②光南81点 ③青陵69点（関西は4年連続33度目の優勝）

【女子】100㍍自由形 ①小寺佐代子（勝山）59秒86＝大会新 ②石崎葵（備前緑陽）③石崎冴（同）▽400㍍自由形 ①増田葵（倉敷工）4分25秒58＝大会新 ②来間（光南）③森田（創志学園）▽100㍍平泳ぎ ①滝波衣都（山陽女）1分14秒42 ②有安（青陵）③柏原（光南）▽100㍍バタフライ ①石原麻裕（真庭）1分5秒15 ②上岡（城東）③藤川（二宮）▽100㍍背泳ぎ ①赤木彩乃（勝山）1分4秒41＝大会新 ②藤本（倉敷工）③延岡（津山）▽200㍍個人メドレー ①前田彩花（芳泉）2分23秒99 ②岡部（光南）③岡（大安寺）▽400㍍リレー ①光南（橋本、岡部、山中、来間）4分9秒70 ②就実 ③大安寺 ◇学校対抗 ①光南118点 ②大安寺55点 ③芳泉51点（光南は5年連続16度目の優勝）

大会新で〝完全復活〟

完全復活と言って良い泳ぎだ。女子100㍍背泳ぎの赤木は自身の大会記録（1分4秒57）を2年ぶりに0秒16更新。「久々に良いタイムが出せた。自信になる」。3連覇を達成し、自然に笑みがこぼれた。

1カ月ほど前から腰に痛みがあり、万全ではない状態で「不安があった」という。前半50㍍は31秒15と想定より1秒遅れたが、磨いてきたストロークで後半は粘った。一番苦しいというラスト5㍍も歯を食いしばり、大会新のコールを受けた。

中学3年の全国ジュニアオリンピックカップでは50㍍背泳ぎで中国新をマークして準優勝。高校1年になると100㍍で1分3秒67の県高校新を樹立。169㌢の長身スイマーは期待を集めた。

だがその年の冬、「きつい練習やレースの緊張感が嫌で頑張れなくなった。頑張れない自分も嫌になった」と突然、スイミングクラブを辞めた。プールに戻ったのは半年後。友人や家族らに後押しされ「いろいろな人が応援してくれている。もう一度やってみよう」と気持ちを奮い立たせた。

1分3秒台前半で見えてくるインターハイ決勝の舞台。「今まで以上に練習を頑張って、辞める前より絶対に速くなる。高校最後の年。結果を残す」。瞳から気力があふれている。（楠本渉）

悔しさいっぱい

〇…大会記録を0秒01破ったが悔しさいっぱいの表情だ。男子100㍍背泳ぎの中尾＝写真＝は自身の県高校記録（59秒00）にわずかに届かない59秒05。「自己ベストを狙っていた。前半の減速がなかったら」と顔をしかめた。

背泳ぎの場合、屋外プールでは目標物がなく、真っすぐ泳ぐのが難しい。記録更新を狙って腕をフル回転させたが、25㍍辺りでコースロープにぶつかり「かなり減速した」。前半を27秒台後半で回りたいところを28秒41かかったのが響いた。

それでも181㌢（60㌔）の体を生かした泳ぎはよりダイナミックになってきた。今年の目標は57秒台への突入。細身の体を「夏までに鍛え、瞬発力とスタミナをつけていく」。2年生が自信を深めている。（楠本渉）

岡山県学童軟式野球

西浦4年ぶり栄冠

第37回岡山県学童軟式野球選手権大会（全日本軟式野球連盟岡山県支部、山陽新聞社主催）最終日は24日、高梁市の神原スポーツ公園で準決勝と決勝を行い、倉敷勢同士の決勝は特別延長八回の末、西浦が二福を4―3で下し、4年ぶり3度目の栄冠を手にした。西浦は全日本大会（8月12～17日・東京）、二福は大鳴門橋大会（同17～21日・徳島）に出場する。

▽決勝

西浦	0001000	3	4
二福	0001000	2	3

（特別延長八回）

▽三塁打 金光、谷本

【評】西浦が接戦を制した。1―1で無死満塁の特別延長に突入した八回、先頭金光の中犠飛で1点を勝ち越し。さらに相手投手の制球の乱れにつけ込み、三連続四死球で2点を追加。主戦河野から引き継いだ青木が反撃をしのいだ。二福は八回に2点を挙げる粘りを見せたが、あと一打が出なかった。（近藤哲也）

西浦	打	安	点
⑥ 佐藤	4	1	0
⑤ 横山	4	0	0
①4 河野	4	1	0
③ 金光	3	1	1
② 宮本	3	1	0
⑨ 井上	3	1	0
④1 青木	3	2	1
⑦ 岩下	0	0	1
⑧ 福島	3	0	1
計	27	7	4

二福	打	安	点
⑧ 谷本	3	1	0
⑤1 和田木	4	1	0
⑥ 高田	4	0	1
② 原	3	1	1
⑦ 小林	4	1	0
④ 中務	1	0	0
③ 小坂	2	1	0
⑨ 鴨井	2	0	0
① 小倉	2	1	1
R5 鳥越	0	0	0
計	25	6	3

	振球	犠盗	失	残	併
西	04	51	1	1	10
二	32	52	0	8	0

▽準決勝

東岡山	0003001	4
二福	1000202x	5

（東）山崎―小山（二）高田―原

▽二塁打 高田3、原（二）

宇野	0000000	0
西浦	000210×	3

（宇）山田―橋本（西）佐藤―宮本

吉備国大2連勝

プレナスチャレンジL

サッカー女子のチャレンジリーグは24日、松山市などで5試合があり、高梁吉備国大シャルムはアウェーで愛媛を3―1で下し、2連勝を飾った。通算成績は10勝2敗（勝ち点30）で2位のまま。

吉備国大は前半4分にMF高野が右足で決めて先制。後半開始直後にMF重政が追加点を挙げ、36分にはDF村松が右CKに頭で合わせ、突き放した。直後に1点を返されたが、攻守に圧倒した。

吉備国大の次戦は7月1日、高梁市の神原スポーツ公園で最下位のJSCLと当たる。

高梁吉備国大(30) 3（2―1 1―0）1 愛媛(11)
▽得点者【高】高野、重政、村松【愛】小野山
常盤木学園高(22) 3（1―0 2―2）2 JSCL(2)
仙台(34) 2（0―1 2―0）1 アカデミー福島(16)
静岡産大(16) 3（2―3 1―0）3 鹿児島(11)
日体大(27) 2（1―0 1―0）0 京都(7)

◇チャレンジリーグ勝敗表◇

		勝点	勝	分	敗
①	仙台大	34	11	1	0
②	高梁吉備国大	30	10	0	2
③	日体大	27	9	0	3
④	常盤木学園高	22	7	1	3
⑤	Ｓ世田谷	18	6	0	5
⑥	アカデミー福島	16	5	1	6
⑦	静岡産大	16	4	4	3
⑧	愛媛	11	3	2	6
⑨	鹿児島	11	3	2	7
⑩	京都	7	2	1	8
⑪	長野	5	1	2	8
⑫	JSCL	2	0	2	10

中国高校大会

おかやま山陽 団体完全V 空手

中国高校大会は24日、岡山市の桃太郎アリーナなどでバドミントン、弓道、空手、ボクシングがあり、空手はおかやま山陽が男女団体計4種目を完全制覇した。バドミントン個人は男子の福田卓郎（水島工）、女子の小見山彩（倉敷中央）がシングルス、ダブルスとも制し、前日の団体と合わせ3冠達成。ボクシングはバンタム級の金中竜児（岡山工）ら岡山勢が4階級で頂点に立った。

空手

（広島県立総合体育館）

【男子】団体形 準決勝 おかやま山陽5―0倉敷、如水館5―0松徳学院▽決勝 おかやま山陽4―3如水館 ◇団体組手 準決勝 おかやま山陽3―1呉港、広島山陽2（内容勝ち）2山口鴻城▽決勝 おかやま山陽3―0広島山陽 ◇個人 形 ①西原啓太（おかやま山陽）②寺脇（如水館）③船越（倉敷）、川本（山口鴻城）▽組手 ①尾加龍之介（広島山陽）②木村（おかやま山陽）③早田（同）、越智（広島山陽）

【女子】団体形 準決勝 おかやま山陽4―1安芸南、如水館（不戦勝）広島山陽▽決勝 おかやま山陽4―3如水館 ◇団体組手 準決勝 おかやま山陽3―0海田、山口鴻城3―1安芸南▽決勝 おかやま山陽2（内容勝ち）2山口鴻城 ◇個人 形 ①堀田幸江（おかやま山陽）②西山（同）③中村（海田）、鈴木（境港総合技術）▽組手 ①加藤胡桃（おかやま山陽）②碓井（安芸南）③金森（松徳学院）、山田（如水館）

バドミントン

（桃太郎アリーナ）

【男子】個人シングルス ①福田卓郎（水島工）②林谷（米子北）③森田（同）、渡辺（水島工）▽同ダブルス ①福田卓郎・岡本侑也（水島工）②古城・渡辺（同）③稲迫・森田（米子北）、林谷・松本（同）

【女子】個人シングルス ①小見山彩（倉敷中央）②加藤（同）③岡崎（同）、重信（柳井商工）▽同ダブルス ①小見山彩・加藤美幸（倉敷中央）②桜本・三橋（鳥取敬愛）③重信・福本（柳井商工）、辻・矢上（同）

弓道

（鳥取県立武道館）

【男子】団体決勝トーナメント 1回戦 広島工13―9広島市工、倉吉西15―9境港総合技術、出雲11―7鳥取西、呉工15―8益田翔陽、岡山工16―12江津工、下松工12―10育英、美鈴が丘15―12興陽、崇徳18―10米子工▽準々決勝 倉吉西15―13広島工、呉工16―12出雲、岡山工13―9下松工、崇徳16―13美鈴が丘▽準決勝 倉吉西17―16呉工、崇徳16（競射5―4）16岡山工▽決勝 崇徳17―15倉吉西

【女子】団体決勝トーナメント 1回戦 宇部中央13（競射8―7）13松江北、津和野11―8米子西、倉吉西16―12柳井、鳥取西12―10広島商、出雲16―14益田、呉14―9豊浦、米子南10―8大社、呉商11（競射6―4）11天城▽準々決勝 宇部中央13―8津和野、倉吉西14―11鳥取西、出雲11―10呉、呉商14―9米子南▽準決勝 倉吉
宇部中央、出雲16―
▽決勝 倉吉西17―

ボクシング

（広島市中区スポ
ター）
▽ピン級 ①竹原
山陽）②三原（出雲
場2人▽ライトフラ
東森一希（西）②藤
③阿久井（翠松）①
丘）▽フライ級
③荒木（倉敷工）②木野
（出雲農林）
白鳳）▽バンタム級 椎
竜児（岡山工）②豊
西）③松永（米子高
（広陵）▽ライト級
智史（岡山工）②田
③三代（松江工）静
総合技術）▽ライト
ー級 ①原田直樹
中田（関西）③平田
田中（倉吉北）▽ウ
級 ①梁本凌司（
松本（崇徳）＝出場
ドル級 ①赤柏実
藤谷（崇徳）③神野
池田（境港総合技術

少年サッカー岡山県予選

コムレッド 初の頂点

小学生による全日本少年サッカー大会岡山県予選最終日は24日、備前市の市総合運動公園陸上競技場であり、決勝でコムレッドが浦安FCを2―1で破り、初の頂点に立った。

▽決勝 コムレッド2―1浦安FC

（天津雄一郎）

初優勝したコムレッド＝備前市総合運動公園陸上競技場

なでしこL杯

（24日・高槻市萩谷総合公園サッカー場）

【1次リーグ】▽B組
日テレ(3) 9（3―2 6―0）2 大阪高槻(0)
▽得点者【日】有吉2、木龍、阪口、小林弥、伊藤、永里、原2【大】伊丹、浅野

中国サッカーリーグ

（24日・島根県立サッカー場）
デッツォーラ島根(30) 5（4―1 1―0）1 鳥取ドリームス(3)

◆サッカー プリンスリーグ中国第7節最終日（24日・広島広域公園第1球技場）▽1部 皆実(19) 2―1 米子北(18)、瀬戸内(12) 2―1 観音(15)

バレーヤングク大会岡山県予選

シーガルズJ本大会へ

中学年代・小学6年の下部組織で、昨年発足。
バレーボールクラブチー
理大付中、大阪国際大和

には、これまで岡山クが予選なしで出場していたが、シーガルズジュニアの登録により初めて予選が行われた。

男子の予選も7月16日

近県ラグビー

岡山県高校選抜敗れる

第63回近県ラグビー大会（岡山県ラグビー協会主催、山陽新聞社共催）は24日、美作市の美作ラグビーサッカー場であり、岡山県高校選抜は愛媛県高校選抜に5―41で敗れた。

岡山県選抜は開始早々にトライを奪われ、その後も失点を重ねた。後半9分にゴール前の好機からプロップ吉岡（一宮）が飛び込んで、一矢報いた。

愛媛県高校選抜 41（10―0 31―5）5 岡山県高校選抜

後半9分、岡山県のプロップ吉岡拓がトライを決め、
する＝美作ラグビー場

先制許し浮き足 精度欠くプレー

手の突破を抑え
撃の連係も「動
った」と主将の
岡田（岡山工）。
場であるこの大会
なからず収穫も
チームは7月
征を経て、8月
国予選に臨む。
ライを挙げたプ
岡（一宮）は「
と勝つ準備をし
気合を入れ直し
（川

全日本小
アーチ
竹内（吉永中）
野田（理大付中）

アーチェリー
小学生中学生選
陽新聞社後援）
の両日、備前市
動公園であり、
女子の竹内美紅
が準優勝、男子
（理大付中）が
った。優勝は男